

## 千葉県入院者訪問支援事業実施要綱

## (目的)

第1条 本事業は、精神病床を有する医療機関（以下「精神科病院」という。）の入院者のうち、当該精神科病院外の者との面会交流が特に途絶えやすくなることが想定される者からの希望に基づき、当該精神科病院へ訪問し、入院者の体験や気持ちを丁寧に聴くとともに、入院中の生活に関する一般的な相談や必要な情報提供等を行うことで、入院者本人の孤独感や自尊心低下を解消することを目的とする。

## (実施主体等)

第2条 本事業の実施主体は、千葉県（以下「県」という。）とする。

2 県は、第5条に掲げる事業内容のうち、一部を団体等に委託して実施できるものとする。

## (支援対象者)

第3条 本事業の対象者は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 市町村長同意による医療保護入院者であって、本事業による支援を希望するもの。
- (2) 地域の実態等を踏まえ、(1)と同等に支援が必要として県が認め、本事業による支援を希望する者

## (訪問支援員)

第4条 訪問支援員は、県及び千葉市が実施する第5条(1)の研修を修了した者のうち、県が選任したものとする。

2 訪問支援員は、支援対象者からの求めに応じて、精神科病院を訪問し、入院中の支援対象者の話を誠実かつ熱心に聞くほか、入院中の生活に関する相談、必要な情報の提供等を行う。

## (事業内容等)

第5条 県は、次に掲げる事業を行うこととする。

## (1) 訪問支援員養成研修の実施

訪問支援員の業務を適正に行うために必要な知識・技能等を習得するための研修やフォローアップの研修を別途定める要領に基づき実施する。

## (2) 事業の周知

精神科病院、入院者及び県内市町村（千葉市を除く）に対し、本事業についての周知を図るものとする。

## (3) 訪問支援員の選任

(1)の研修を修了した者のうち、訪問支援に適任であると認めた者について、訪問支援員として県が選任する。

## (4) 訪問支援員の派遣

## ア 支援対象者からの面会希望の受付及び派遣調整

電話等による窓口を設置し、支援対象者等から訪問支援員との面会希望があった場合には、支援対象者の意向を確認した上で、その者の入院中の精神科病院へ連絡し派遣調整を行う。

## イ 訪問支援員を精神科病院に派遣する際には原則として2名体制とする。

ウ 相談の内容及びその処理経過等を明らかにした相談記録台帳及び相談記録票その他業務に必要な書類を整備し、個人情報を含め適切に管理を行う。

(5) 会議の開催

ア 入院者訪問支援事業推進会議

県は、本事業の実施内容の検討や見直し等を行い、関係者の合意形成を図るため、精神科病院、当事者団体、当事者家族、精神保健福祉センター、その他関係団体、有識者等により構成される会議体を設置し、次に掲げる事項を行うため開催するものとする。

なお、既存の協議の場を本会議として活用することでも差し支えないが、本会議の運営は県が行うものとし、本事業を委託している場合は受託した団体に本会議の参加を求めるものとする。

(ア) 本事業の実施状況の把握

(イ) 入院者訪問支援事業実務者会議から報告を受けた課題等の検討

(ウ) 本事業全体の評価

イ 入院者訪問支援事業実務者会議

県は、本事業実施における支援のあり方や課題等について、本事業の円滑な推進と、更なる充実を図ることを目的として、実務者が協議するため、県、市町村、精神科病院、訪問支援員等により構成される会議体を設置し、次に掲げる事項を行う。なお、本会議において挙げた課題等を入院者訪問支援事業推進会議へ報告する。

(ア) 訪問支援の実施状況の把握

(イ) 本事業の目的に即した事業となっているか効果の検討

(ウ) その他本事業に必要と認められる事項の協議

(6) その他

必要に応じ精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに係る圏域連携コーディネーター等との連携を図ること。

(個人情報保護等)

第6条 本事業の実施に当たっては、対象者の人格を尊重してこれを行うとともに、本業務を行うにあたって知り得た個人情報や精神科病院の運営に関する情報等について厳重に管理し、正当な理由なく他に漏らしてはならない。これらについては、業務従事者が本業務の従事から退いた後も同様とする。県又は受託団体は、訪問支援員と、事業の課程で知り得た情報についての秘密保持契約を結ぶものとする。

(その他)

第7条 この要綱に定めのない事項又は本要綱について疑義が生じた際は、必要に応じて本事業を委託している場合は県と受託した団体で協議し定めるものとする。

附 則

この要綱は、令和7年2月14日から施行する。